

寒さも和らぎ、うらかな春の香りをを感じるようになりました。この良き日に早稲田大学を卒業された皆様に、在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

今、先輩方の脳裏にはどのようなことが浮かんでいるのでしょうか。レポートや課題に追われた時のこと、サークルや委員会活動での充実した時間、アルバイトに勤しまれたこと。あるいは、夜通し飲み明かしたことでしょうか。皆様それぞれに思い出は異なると思います。が、何気ない日常の一つひとつがかけがえのない大切な時間であったことと思います。

思い返せば、私たちは多くの先輩方の温かな支えの中で大学生活を送ってきました。実験では TA として丁寧にご指導いただき、サークルや委員会活動ではリーダーシップと気配りで常に寄り添ってくださる姿に憧れを抱きました。中でも、応用化学委員会の活動は私にとってかけがえのない経験となりました。何度も議論を重ねる中で、先輩方の的確な意見と深い洞察力に何度も感銘を受けました。私が気づけなかった課題や見落としていた視点を、先輩方は的確に指摘し、より良い方向へ導いてくださいました。先輩方の言葉には実体験からくる説得力と温かさがあり、その一つひとつが私にとって大きな学びでした。問題に直面した時には逃げずに冷静に向き合う姿。どんな時でも周囲への気配りを忘れない優しさ。私にとって、まさに「こんな先輩になりたい」と思わせてくれる存在でした。これからは私たちがその思いを受け継ぎ、後輩たちを支えていけるよう、日々精進していきます。

本日まで卒業される皆様の中には、夢と希望を胸に新しい環境へ旅立たれる方もいらっしゃると思います。この応用化学科にとどまり、より一層研究に励まれる方もいらっしゃると思います。どのような進路であっても、応用化学科で培った「役立つ化学・役立てる化学」の力とともに、皆様が力強く前進されると確信しております。私たちの一歩先で輝く先輩方を目標に、より一層の努力を重ねていきたいと思っております。

最後になりましたが、皆様のご健勝とさらなるご多幸を御祈りし、送辞とさせていただきます。